

内閣総理大臣杯争奪
第42回日本車椅子バスケットボール選手権大会
個人トータル表

2014年5月17日 17時20分開始

2回戦

東京体育館 B - 5

◎
宮城MAX
(東北)

78

〔 21 1クォーター 2
25 2クォーター 6
12 3クォーター 13
20 4クォーター 10 〕

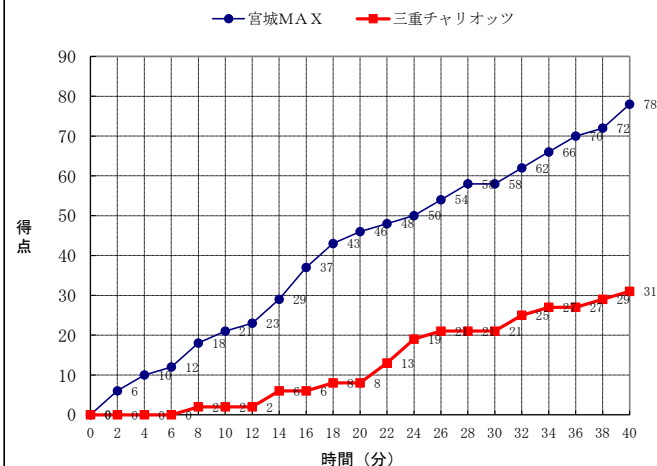
31

三重チャリオッツ
(東海北陸)

番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	
* 4	豊島 英 (2)	12	0	6	0	-	-	1	* 6	稲葉 潤一郎 (3.5)	6	0	3	0	-	-	2	
* 5	藤本 怜央 (4.5)	33	1	15	0	-	-	0	7	山口 幸伸 (3.5)	-	-	-	-	-	-	-	
6	東海林 和幸 (1)	0	0	0	0	-	-	1	9	楠後 武文 (1)	-	-	-	-	-	-	-	
7	五十嵐 雄也 (2.5)	2	0	1	0	-	-	0	* 11	三浦 文閣 (2.5)	0	0	0	0	-	-	1	
8	佐藤 聡 (1)	-	-	-	-	-	-	-	* 12	奥田 智也 (4)	23	0	11	1	-	-	1	
* 10	中澤 正人 (4)	19	0	9	1	-	-	0	* 14	伊藤 真大 (2)	2	0	1	0	-	-	0	
11	加藤 芳博 (3)	0	0	0	0	-	-	1	* 15	須藤 慎也 (2)	0	0	0	0	-	-	3	
12	高橋 剛志 (4)	4	0	2	0	-	-	0										
13	高橋 浩則 (2.5)	2	0	1	0	-	-	0										
* 14	向後 寄夫 (1.5)	4	0	2	0	-	-	1										
* 15	藤井 新悟 (1.5)	2	0	1	0	-	-	0										
16	菅原 志朗 (1)	0	0	0	0	-	-	-										
HC	岩佐 義明								HC	前田 浩司								
AC	石川 大介								AC									
マネージャー	岩佐 望美									小林 恭子								
マネージャー	会田 優									荒木 由里子								
マネージャー	生畑目 有希									金谷 衣里子								
トレーナー	三浦 秀幸																	
合計		78	1	37	1	0	0	4	合計		31	0	15	1	0	0	7	

主審： 杉山 兼芳
副審： 斉藤 登
副審： 吉安 ゆみ

得点経過



〔 戦 評 〕

1Q
開始20秒、宮城MAX5番が先制シュートを決める。その後も立て続けに宮城MAX10番がシュートを決める。三重チャリオッツは宮城MAXのディフェンスになかなかシュートが入らず。中盤またも宮城MAX5番シュートを決める。三重チャリオッツ15番惜しいシュートを打つも入らず、残念。三重チャリオッツは、6番がゴール下シュートを決め、12番が転びながら果敢にシュートを打つが入らない。その後もシュートがなかなか入らず、1Qは21対2で終了。

2Q
開始直後、宮城MAX4番、ボールをカットし、自らボールを運びシュートを決める。その後も10番、14番が立て続けにシュートを決める。開始4分、三重15番シュートを決める。6番もシュートを決め、29対6となる。宮城MAX6番は、持ち前のスピードを活かし速攻でシュートを決める。三重チャリオッツは、厳しいディフェンスに苦戦するも何とかシュートを打つ。46対8で前半終了。

3Q
またも開始直後、宮城MAX5番シュートを決める。三重チャリオッツ11番スリーポイントシュートを狙うもはずす。宮城MAXは、メンバーを交代して戦い、スピードで攻め込むも、10番が3秒オーバータイムを取られる。三重チャリオッツ12番、ミドルシュートを決め、応戦。58対21で3Q終了。

4Q
三重チャリオッツのオフェンスで始まる。直後、12番がファールをもらいながらシュートをねじ込む。その後も、三重チャリオッツ15番が積極的にシュートを打ち、少しずつ得点を重ねるも、宮城MAXは1試合を通して安定した試合展開で圧倒的な強さを見せつけ、78対31で宮城MAXの勝利。

(担当：今井/金子/椎名)